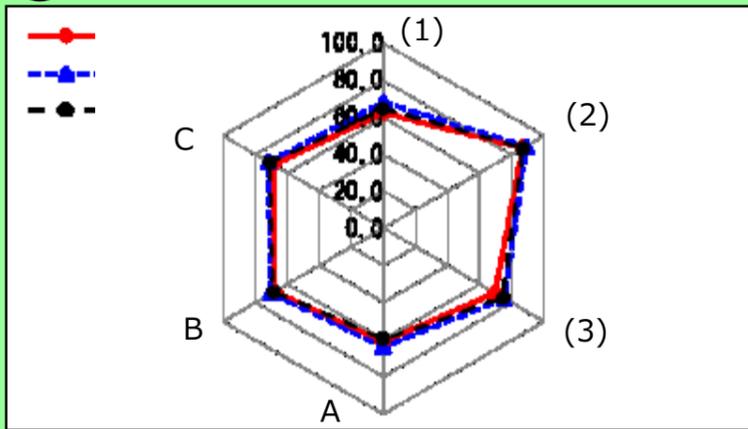


# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（小学校 国語）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	67.7	69.8	72.6
思考・判断・表現	65.7	66.0	68.4

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知・技 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	62.5	64.4	67.9
知・技 (2) 情報の扱い方に関する事項	86.8	86.9	88.8
知・技 (3) 我が国の言語文化に関する事項	69.4	74.6	75.3
思・判・表 A 話すこと・聞くこと	61.4	59.8	63.9
思・判・表 B 書くこと	67.9	68.4	69.9
思・判・表 C 読むこと	68.7	70.7	71.9

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1-	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものと、適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	63.2	62.5	66.6	2.0	0.7	1.1
1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	77.2	75.9	80.3	1.9	0.6	1.0
1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	55.0	52.9	56.3	1.9	0.7	1.1
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものと、適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	65.8	63.8	68.9	1.9	0.9	1.4
2一 (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと、適切なものを選択する	思・判・表 B 書くこと	80.4	80.3	83.4	2.1	0.9	1.3
2一 (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと、適切なものを選択する	知・技 2 情報の扱い方	86.8	86.9	88.8	2.4	0.9	1.4
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	思・判・表 B 書くこと	55.4	56.6	56.4	6.2	4.9	5.8
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（きょうぎ）	知・技 1 言葉の特徴や使い方	43.3	43.4	48.9	16.0	13.2	14.6
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す（なげる）	知・技 1 言葉の特徴や使い方	72.4	76.0	77.3	11.5	8.0	9.5
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	57.2	62.3	65.2	5.3	2.0	3.2
3二 (1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	69.2	66.9	71.1	7.2	2.6	4.1
3二 (2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に注目したのかについて説明したものと、適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	69.3	72.5	73.6	8.5	2.9	4.5
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	思・判・表 C 読むこと	67.4	72.6	71.0	19.6	12.6	15.7
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	知・技 3 我が国の言語文化に関する事項	69.4	74.6	75.3	17.5	7.6	10.5

### 現状・課題

① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は67.7%であり、全国より2.1ポイント、東京都より4.9ポイント低い。思考・判断・表現は65.7%であり、全国より0.3ポイント、東京都より2.7ポイント低い。

② 学習指導要領の内容の平均正答率は、知識及び技能の「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」が62.5%、思考力・判断力・表現力等の「A 話すこと」が61.4%、「B 書くこと」が67.9%、「C 読むこと」が68.7%であり、全国及び東京都を下回った。

③ 調査の終盤の問題に無回答率が多く、質問紙調査において「調査時間が足りなかった」と答えていることから、調査時間内に十分取り組めなかったと考えられる。

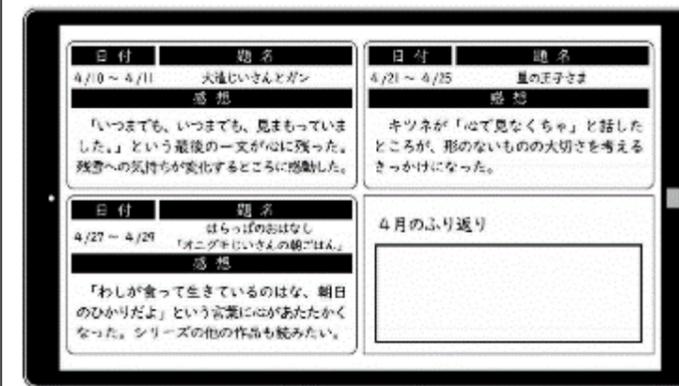
### 具体的な設問例（大問3四）

### 3 我が国の言語文化に関する事項

日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付く。

原さんは、自分の読書の記録を読み返し、気付いたことを□にまとめています。□に入る内容として適切なものを、下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

【原さんの読書の記録】



- 1 読書を通して、学校図書館や地いきの図書館の利用の方法を知ることができると気づいた。
- 2 読書を通して、科学的な事実について、ぎ問に思ったことを調べて解決できると気づいた。
- 3 読書を通して、自分が文章を書くときに役に立つ書き方を学ぶことができると気づいた。
- 4 読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができると気づいた。

<正答> 【番号】4

### 指導改善のポイント

誤答の児童は、原さんの読書の記録に共通する内容があることや読書の意義を捉えることができなかったと考えられる。

○ 読書活動の年間指導計画を立て、「読書の記録」等の取組を通して、日常的に読書に親しむことができるようにする。

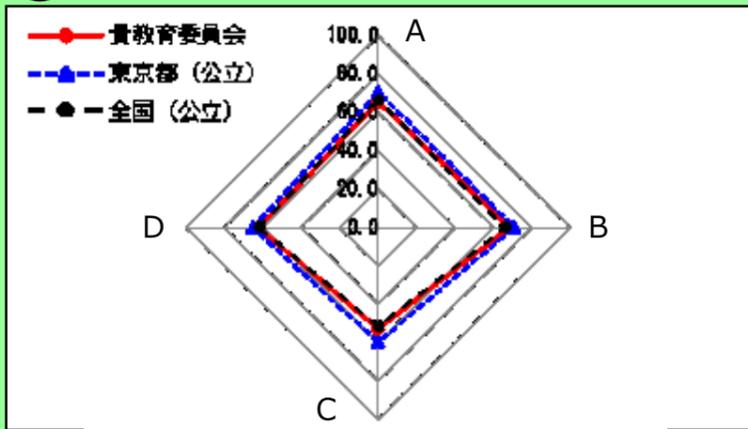
○ 「読書の記録」を生かして、読書がどのように自分の考えを広げるのに役立ったのかなど、交流する場を工夫し、児童同士で気付きを引き出せるようにする。

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（小学校 算数）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	72.0	72.8	76.7
思考・判断・表現	53.4	51.4	57.1

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
A 数と計算	65.4	66.0	70.6
B 図形	67.9	66.3	70.8
C 変化と関係	52.7	51.7	59.3
D データの活用	61.9	61.8	65.2

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1 (1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	知・技 A数と計算	59.4	62.1	66.9	0.3	0.2	0.4
1 (2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	知・技 A数と計算	89.9	88.5	91.9	0.5	0.3	0.4
2 (1)	350×2=700であることを基に、350×16の積の求め方と答えを書く	思・判・表 A数と計算	56.5	56.9	61.3	3.2	3.4	3.6
2 (2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	知・技 A数と計算	70.7	69.1	73.5	1.4	1.3	1.6
3 (1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	知・技 B図形	83.8	85.5	88.0	1.0	0.6	0.9
3 (2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	知・技 B図形	70.5	71.3	75.9	1.2	0.8	1.1
3 (3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	思・判・表 B図形	39.8	36.5	45.3	14.3	9.8	10.8
3 (4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	思・判・表 B図形	77.7	72.0	73.9	1.9	1.8	2.0
4 (1)	540÷0.6を計算する	知・技 A数と計算	68.5	70.1	74.3	4.1	3.1	3.4
4 (2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	思・判・表 C変化と関係	73.6	70.0	78.3	4.2	3.3	3.7
4 (3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	思・判・表 C変化と関係	33.1	31.0	37.2	3.0	2.4	2.8
4 (4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	知・技 C変化と関係	51.3	54.1	62.2	6.5	4.6	5.2
5 (1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	知・技 Dデータの活用	83.2	80.8	82.4	2.3	1.8	2.2
5 (2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く	知・技 Dデータの活用	71.1	73.3	74.9	5.2	3.9	4.6
5 (3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	思・判・表 Dデータの活用	46.0	44.0	48.0	14.0	12.6	13.5
5 (4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	思・判・表 A及びD	47.4	49.3	55.5	6.1	4.0	4.7

### 現状・課題

①評価の観点の平均正答率は、知識・技能は72.0%であり、全国より0.8ポイント、東京都より4.7ポイント低い。思考・判断・表現は53.4%であり、全国より2.0ポイント高く、東京都より3.7ポイント低い。

②学習指導要領の内容の平均正答率は、「B 図形」が67.9%、「C 変化と関係」が52.7%、「D データの活用」が61.9%であり、全国を上回り、東京都を下回った。

③大問5(4)のように、データを分類整理し、表に表したり読んだりすることや、数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすことに課題がある。

### 具体的な設問例（大問5（4））

### A 数と計算及びD データの活用

示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する。

（略）こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方と3月15日までの最高気温の数値をたした答えが549であったことから、桜の開花予想日を下の「□」のようにまとめました。

【3月16日から3月19日までの最高気温の予報】

日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温（度）	21	20	15	14

【桜の開花予想日の求め方】

- ①2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
- ②毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。

下のウに入る式を1つ選んで、その番号を書きましょう。また、工に入る数を書きましょう。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、(ウ)だから、桜の開花予想日は3月(工)日です。

- 1 549+21
- 2 549+21+20
- 3 549+21+20+15
- 4 549+21+20+15+14

<正 答>  
【(ウ)の番号】3  
【(工)の数】18

### 指導改善のポイント

誤答であった児童は、桜の開花予想日の求め方と最高気温の予報の表などを基に、表から必要な数値を読み取って和が初めて600以上になる式に表すことができなかったと考えられる。

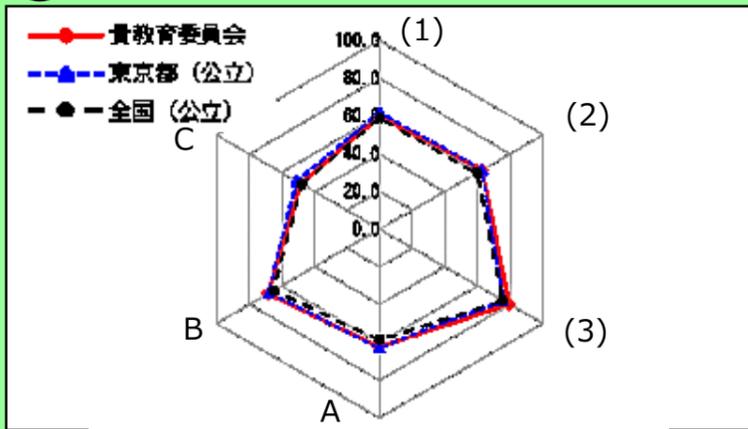
- 本設問を用いて桜の開花予想日を求め、説明する活動を設定する。
- ・その際、どのような式を用いて判断したかを説明できるようにする。
- ・また、表と式を対応させて桜の開花予想日がいつになるかを説明できるようにする。

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（中学校 国語）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	64.1	62.0	64.4
思考・判断・表現	57.5	55.4	58.6

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)			
	本市	全国	東京都	
知・技	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	59.8	59.2	61.6
	(2) 情報の扱い方に関する事項	62.9	59.6	62.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	79.3	75.6	75.7
思・判・表	A 話すこと・聞くこと	62.4	58.8	62.9
	B 書くこと	68.8	65.3	67.9
	C 読むこと	48.2	47.9	50.8

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1一	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	65.7	63.2	66.3	0.2	0.4	0.4
1二	話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	73.4	68.5	73.9	3.3	3.5	3.3
1三	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	知・技 2 情報の扱い方	48.6	44.0	47.4	0.4	0.5	0.5
1四	話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	48.1	44.7	48.4	8.1	9.9	8.4
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	35.5	36.3	39.1	0.5	0.5	0.6
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する	知・技 2 情報の扱い方	77.1	75.2	78.4	0.5	0.6	0.6
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	思・判・表 C 読むこと	65.9	64.5	67.1	0.4	0.6	0.6
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	思・判・表 C 読むこと	44.6	42.6	48.2	7.0	8.4	7.4
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表 B 書くこと	85.7	81.4	83.7	0.5	0.7	0.7
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	57.9	53.8	58.0	0.7	1.0	1.1
3三	漢字を書く(みちたりた)	知・技 1 言葉の特徴や使い方	66.5	68.8	71.2	11.9	10.2	9.7
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	思・判・表 B 書くこと	51.9	49.3	52.1	11.6	15.0	12.7
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	55.0	54.9	55.6	2.2	1.8	1.8
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	思・判・表 C 読むこと	46.7	48.3	48.8	4.2	3.4	3.5
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	知・技 3 言語文化	79.3	75.6	75.7	3.4	2.3	2.3

### 現状・課題

①評価の観点の平均正答率は、知識・技能は64.1%であり、全国より2.1ポイント高く、東京都より0.3ポイント低い。思考・判断・表現は57.5%であり、全国より2.1ポイント高く、東京都より1.1ポイント低い。

②学習指導要領の内容の平均正答率は、すべての観点で全国を上回り、「(3)我が国の言語文化に関する事項」が3.6ポイント、「B 書くこと」が0.9ポイント東京都を上回った。

③大問2一のように文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することや、大問4二のように短歌の内容などについて、描写を基に捉えることに課題がある。

### 具体的な設問例 (大問4二) C 読むこと

短歌の内容について、描写を基に捉える。

田中さんは、AからCまでの短歌によまれている情景の時間帯が異なることに気付きました。——部分 a、b、cに着目して、夕方から翌朝へという時間の流れに沿って順番に並べ替えるとどのようになりますか。A、B、Cを適切に並べ替えて書きなさい。

- A まどかなる黄月(こうげつ)はいま昇りつつひとたび暮れし雪野を照らす
- B 風さやか庭に月待つ萩(はぎ)すすき蝸(ひぐらし)の声やみし夕暮れ
- C 朝光(あさかげ)のひろびろしきに昨(きそ)の夜(よ)のつきかげありしあたりを掃きぬ

<正 答> B→A→C

### 指導改善のポイント

誤答であった生徒は、短歌の内容について、描写を基に捉えることのできなかったと考えられる。

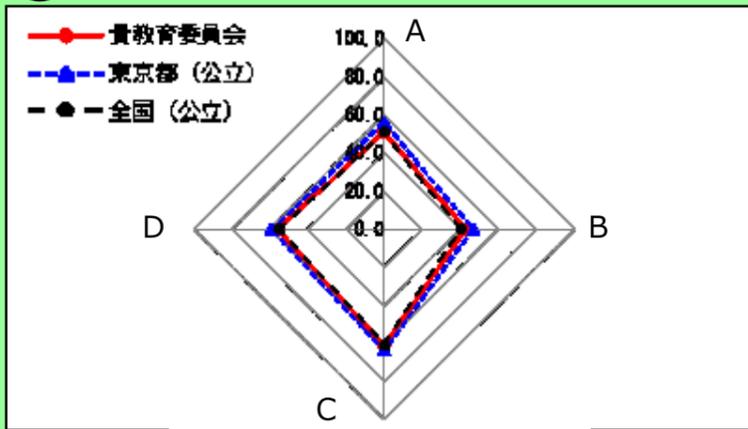
- 短歌を鑑賞するために、複数の短歌を読み比べる学習を設定する。
  - ・その際、共通点を見いだして複数の作品を関係付けたり、共通するものの中で違いを考えたりする
  - ・また、交流を通して、自分の解釈の根拠を説明したり、他の読み手の解釈と比較したりする。

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（中学校 数学）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	63.4	63.1	67.3
思考・判断・表現	30.8	29.3	34.2

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
A 数と式	50.9	51.1	56.2
B 図形	42.7	40.3	46.5
C 関数	60.9	60.7	63.5
D データの活用	56.3	55.5	59.1

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	知・技 A数と式	34.8	34.8	43.4	13.3	14.3	11.9
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	知・技 A数と式	49.0	52.5	57.8	11.1	9.7	9.1
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ	知・技 B図形	69.6	68.3	72.8	0.4	0.3	0.4
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ	知・技 C関数	66.4	65.3	68.3	0.9	0.7	0.8
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める	知・技 Dデータの活用	76.3	73.1	77.1	2.0	4.2	3.3
6 (1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	知・技 A数と式	91.3	90.2	92.1	1.8	2.5	2.3
6 (2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	思・判・表 A数と式	37.8	35.9	41.7	21.5	23.5	19.1
6 (3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	思・判・表 A数と式	41.9	41.8	46.2	31.1	29.6	26.4
7 (1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	知・技 Dデータの活用	73.9	74.3	78.3	4.1	5.8	5.2
7 (2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	思・判・表 Dデータの活用	25.5	25.9	28.8	30.6	29.4	26.3
7 (3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	知・技 Dデータの活用	49.6	48.5	52.2	0.7	0.9	1.1
8 (1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	知・技 C関数	82.5	83.4	85.7	0.9	0.8	1.0
8 (2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	思・判・表 C関数	17.5	17.1	20.5	18.1	16.4	15.2
8 (3)	結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く	知・技 C関数	77.2	76.9	79.4	3.6	3.8	4.1
9 (1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	思・判・表 B図形	31.5	25.8	33.9	26.2	33.6	27.7
9 (2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	知・技 B図形	26.9	26.7	32.9	4.6	4.5	4.7

### 現状・課題

① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は63.4%であり、全国より0.3ポイント高く、東京都より3.9ポイント低い。思考・判断・表現は30.8%であり、全国より1.5ポイント高く、東京都より3.4ポイント低い。

② 学習指導要領の内容の平均正答率は、「A 数と式」が50.9%で全国と東京都を下回り、それを除く3つの観点で全国を上回った。

③ 大問6(3)のように、記述式の問題に無回答率が多く、平均正答率が低いことから、問題解決の方法等を数学的に説明することに課題がある。

### 具体的な設問例（大問6（3））

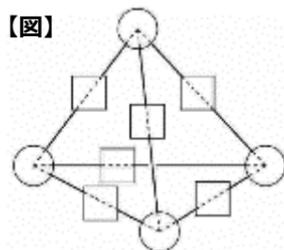
#### A 数と式

統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する。

（略）優真さんは、正三角形を正四面体に変えても、各頂点の○に入れた整数の和と各辺の□に入る整数の和の間には何か関係があるのではないかと思います。正四面体の図をかいて考えてみることにしました。次の図は正四面体の図の各頂点に○を、各辺に□をかいたものです。

このとき、○を入れた整数の和と□に入る整数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「●●は、◆◆になる。」という形で書きなさい。

【図】



（正答の条件）「●●は、◆◆になる。」という形で、次の(a)、(b)について記述しているもの。

(a) ●●が、「□に入る整数の和」である。

(b) ◆◆が、「○に入れた整数の和の3倍」である。

<正答例> □に入る整数の和は、○に入れた整数の和の3倍になる。

### 指導改善のポイント

誤答であった生徒は、「○に入れた整数の和」と「□に入る整数の和」の関係に着目することはできなかった、又は「3倍になる」ことを捉えることができなかったと考えられる。

○本設問を用い、正三角形の場合に考察した過程や結果を基にして、正三角形を正四面体に変えた場合に成り立つ事柄を説明する活動を設定する。  
・その際、正三角形の場合の結論に含まれる「2倍」がどのように変わるかを、具体的な整数で計算して予想する活動や、文字を用いて明らかにする。